

鶴岡市立荘内病院広報

2017秋 第31号

黎明

※黎明(れいめい)：明け方、夜明けの意

特集：緩和ケアチームの取り組み、診療科紹介
話題：インフルエンザについて、医師修学資金貸与制度



写真：多くの患者さんが、山形大学医学部室内合奏団 サマーコンサートに聴き入りました

トピック

院長 三科 武



山の頂きも白く寒い時期になりました。冬の到来もすぐそこでしょうか。寒くなるとどうしてもインフルエンザなどの感染症の流行が気になります。今年は麻疹(はしか)、病原性大腸菌O・157、サルモネラなどの細菌、ウイルスなどの感染症の流行がみられました。麻疹は予防接種をすることで感染拡大を防ぐことができます。年代によりこのワクチンを接種されていない方がいますのでご注意ください。O・157、サルモネラはいずれも食品からの経口感染です。新鮮な食材使用、加熱料理と、調理器具、お料理する人、食べる人それぞれの手洗いをはじめ衛生状態をよく保つことにより防ぐことができます。これからの季節インフルエンザワクチンは可能であれば接種してください。毎年流行を予測しての株を選びワクチンは作られるので当たり外れが出るのはいたしかたないこともかもしれません。ワクチン接種は感染を確実に防ぐわけではありませんが、感染しても重症化を防ぎます。また、呼吸器の感染症ではありますが、マスクだけではなく、ドアや手すりなどからの感染も可能性があり手洗いも必要と考えられます。この冬も元気で乗り切るように心がけてください。

患者さん一人一人に合わせた、 オーダーメイドのケアに取り組んでいます

荘内病院緩和ケアチーム

緩和ケアは、病を抱える患者さんやそのご家族一人一人の身体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケアです。患者さんやご家族は、病気と診断された時、治療の経過、あるいは再発や転移がわかった時などの様々な場面でつらさやストレスを感じます。緩和ケアでは患者さんご家族が自分らしく過ごせるように、医学的な側面に限らず、いろいろな場面で幅広い対応をしていきます。治療と並行し緩和ケアを早期から取り入れていくことは、療養生活の質をより良いものにしていくことにつながります。そこで、緩和ケアを必要とする患者さんやご家族を、主治医と共に専門的な立場から支えていくのが緩和ケアチーム（PCT）です。

荘内病院PCTは、平成16年に発足しました。外科系医師1名、内科系医師1名、薬剤師1名、管理栄養士1名、理学療法士1名、看護師9名の計14名で構成しています。緩和ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、乳がん看護認定看護師、リンパ浮腫セラピストなど専門的な教育を受けた看護師も所属しています。PCTは、患者さんご家族、医療

スタッフとのコミュニケーションを大切に活動し心掛けています。

PCTメンバーの役割を 教えてください

医師は、痛みや呼吸困難などの症状に対して、薬物療法を中心にした苦痛緩和の方法を提案しています。緩和ケア外来では、患者さんに薬の効果と日常生活の状況を伺い、きめ細やかに対応しています。

看護師は、患者さんの生活援助を通じて苦痛の緩和と評価を行い、PCTの介入が必要と判断した患者さんの情報を緩和ケア認定看護師に伝えます。認定看護師は、患者さんやご家族の心と身体の状態を評価し、介入を調整します。また、患者さんの希望に合わせて、入院から外来、地域へと医療をつなぐ役割も担っています。

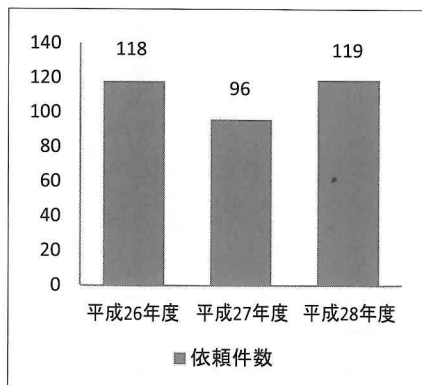
薬剤師は、患者さんの状態に合わせた薬の形態や使用方法を提案しています。

管理栄養士は、食べやすい献立や栄養補助食品の提案を行い、患者さんの「食べる楽しみ」をサポートしています。

理学療法士は、リハビリを通じて患者さんの希望を支えています。

PCTにはどの位の依頼や 相談がありますか？

平成26年度から平成28年度までの依頼件数は、年間約100件です。主な依頼内容は、痛みの緩和、患者さんの精神的支援、家族ケアなどです。最近では、治療や療養場所の選択など意思決定支援での依頼も増えています。その他、在宅療養の調整・退院支援の依頼もあります。



PCTの活動内容とイベントに ついて教えてください

入院患者さんには、担当メンバーがベッドサイドに訪問します。毎週1回チームでラウンドし、カンファレンスで治療やケアに対する評価を行っています。通院患者さんが緩和ケア外来に受診する際や、主治医の

診療科紹介

～麻酔科を紹介します～

麻酔科というと何をやる科と思われるかもしれませんが。手術中に痛くないように、また手術が終わってからも痛くないように、いろいろなお薬を使って麻酔します。手術前には、患者さんの状態を診に伺います。そのときに、風邪をひいていたり、喫煙していると、麻酔がかけられなくなることがあります。予定手術のときは、1か月の禁煙が必要となり、たばこは1本も吸えません。少しでも吸っていたら手術は延期となりますので、必ず守ってください。喫煙の影響で、麻酔をする際に、命にかかわることもあります。

手術中はずっと麻酔の状態を監視しています。手術が終わりましたら麻酔をさまし、麻酔からさめても痛くないように患者さんの状態に応じて薬を使います。

手術中の麻酔科医。
患者さんの状況を
確認します。



ペインクリニック外来も行っており、神経ブロックや特殊な鎮痛薬を使用するなど、痛みの専門的な治療を行っています。

いろいろな痛みに関するお悩みをお聞きます。ペインクリニック外来は予約制となっております。受診を希望する方は、地域の医療機関からの予約をとっていただき、紹介状をご持参の上受診してください。

(麻酔科主任医長 岸正人)

診察に合わせてチームの看護師が訪問することで継続支援を行っています。さらに、患者さんが退院した後にも地域版電子カルテ（Net4U）や電話などを利用して、在宅医や訪問看護師、ケアマネージャーと連絡を取り合い、療養をサポートしていきます。

お楽しみイベントとして、患者・家族会を主催しています。4月はお花見会、8月は赤川花火鑑賞会、12月はクリスマス会など季節に合わせた催しを企画しています。患者さんからは「病室とは違って、ほっとした気分になった」と笑顔を頂いています。

一方、医療従事者に対して、緩和ケアの知識とスキルの向上に取り組

んでいます。院内職員に向けて「医療用麻薬」の「看取りのケア」の意識決定支援などをテーマに学習会を行っています。また、院内外の医療者を対象に山形県緩和ケア研修会（日本緩和医療学会主催 P E A C E



クリスマス会：サンタさんありがとう

プロジェクト）を、当院で開催しています。今年度は、平成30年1月7日、8日の2日間行います。

最近印象に残ったエピソードを
教えてください

Aさんは、消化器がんで手術を受けた後に転移がみつかり、抗がん剤治療を受けていました。緩和ケア外来では、上腹部の痛みに対してオピオイド鎮痛薬（医療用麻薬）が処方されてきました。ある時思いつめた表情で外来を受診したAさんは、せきを切ったように語り始めました。病気の進行に対する不安、家族に素直な気持ちを伝えられないもどかしさ、どんなに苦しくても病気に負けず頑張りたい気持ちを打ち明けてく

れました。そして、「ここではかっこうつけないで、自分の気持ちがお話せませす。聞いてくれてありがとうございます。また頑張れます」と言ってくれました。どんな時も患者さんのそばにいて思いを聴くことが大切であると実感したエピソードでした。

緩和ケアは、単に心身の不快な症状に対処するだけではなく、患者さんが人生を歩みきる力を発揮できるように支援することも大切です。つらいと感じる症状や気持ちは心の内にしまつておかず、是非お近くの医療スタッフに相談してください。

緩和ケアチームは、患者さん一人一人のつらさに応じた、オーダーメイドのケアを実践していきます。

インフルエンザについて

今年もまもなくインフルエンザの流行シーズンが始まります。

インフルエンザは、風邪に比べて症状が重く、乳幼児や高齢者では重症化することもあります。予防法として有効なのは、ワクチン接種・咳エチケット・こまめな手洗い・適度な湿度（50～60%）・十分な栄養と休養・人混みへの外出を控える等です。インフルエンザの感染力（他の人にうつる力）は非常に強く、発病する前日から発病後3～7日間程度は感染力がありますので、一人ひとりが意識して予防策を行うことが大切です。

当院には、未熟児や高齢者、妊婦、術後の方など抵抗力が低下している患者さんが、通院・入院しておりますので、流行シーズンは感染対策を強化しております。ご不便をおかけしますがご理解とご協力をよろしくお願いします。

お願い

<外来を受診される方へ>

- ・病院の出入り口や外来受付に手指消毒剤を設置しておりますので、ご使用ください。
- ・咳やくしゃみ、発熱などの症状がある方は、速やかに職員へ申し出てください。
- ・上記症状のある方はマスクの着用をお願いします。（院内でもお求めになれます）

<面会される方へ>

- ・病室に入る前には、必ず手指消毒とマスク着用をお願いします。
 - ・かぜ症状のある方、中学生以下のお子さんの面会は控えて下さい。
- また、流行状況に応じて、ご家族以外の方の面会を制限させていただく場合があります。

感染対策についてご不明な点がございましたら、以下担当までお問い合わせください。

感染対策チーム 感染管理認定看護師 若松由紀子 電話 0235-26-5111（内線 7722）



～医師修学資金貸与制度のご案内～

鶴岡市立荘内病院医師修学資金貸与は、当院に勤務する医師の確保を目的として、医師を目指す医学生を経済的に支援する制度です。現在鶴岡市出身の医学生9名が利用しています。

この制度は、大学卒業後一定の期間当院に勤務いただくことで、貸与した資金の返還は免除となります。

貸与の対象となるのは、

- ①大学卒業後、医師として当院に勤務する意思を有していること
- ②大学の医学を履修する課程に在学していること
- ③原則として、他の修学資金等の返還の債務がないことを満たしている方となります。

貸与までの流れや返還免除の要件など詳細については、

当院ホームページ (<http://www.shonai-hos.jp>) → 病院のご案内 → 医師修学資金貸与 をご覧ください。

総務課経営企画係 電話 0235-26-5111（内線 6327）

E-mail: soumu@shonai-hos.jp

頑張る医学生を応援します！

修学資金貸与の
来年度の募集は
30年4月1日
からの予定です！

平成29年度 山形県 鶴岡市立荘内病院 医師修学資金貸与医学生募集

鶴岡市立荘内病院医師修学資金貸与は、当院に勤務する医師の確保を目的として、医師を目指す医学生を経済的に支援する制度です。大学卒業後一定の期間当院に勤務いただく場合は、貸与した資金の返還を免除いたします。詳しくは募集要項（募集）をご覧ください。

申込資格	大学の医学を履修する課程に在学している 大学卒業後、医師として荘内病院に勤務する意思を有している 原則として、ほかの修学資金の返還の債務がない
貸与額 貸与の期間	年額20万円以内 在学する大学の在学期間まで
返還免除	大学卒業後5年以内に医師免許を取得 医師免許取得後5年以内に荘内病院に勤務して勤務 荘内病院に在職期間が賃借を受けた期間の1/2に達する （在職期間とは在職期間を指します） 在職期間の中断をすることがあります（他の医療機関での研修等の期間も在職期間から除きます）

申込期間 平成29年4月3日(月)～5月31日(休)まで（申込締切）

お問い合わせはこちらまで
〒997-8515 山形県鶴岡市泉町20番 鶴岡市立荘内病院総務課
電話 0235-26-5111(内線) Fax 0235-26-5118
E-mail soumu@shonai-hos.jp ホームページアドレス <http://www.shonai-hos.jp/>